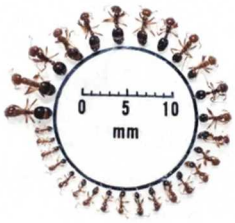
ヒアリに注意

ヒアリは、南米出身の小さなアリです。
これまで日本ではみつかっていませんでしたが、
６～７月の間に、茨城、東京、神奈川、愛知、
兵庫、大阪でみつかりました。外国からきたコンテナの中や、港の近くの地面にいました。

見分け方



いろいろな大きさがいる

S.D. Porter, USDA-ARS

- 赤茶色で、ツヤツヤしている。おしりの色は暗め。
- 色々な大きさのアリが混じっている（2.5-6.0㎜）。
- 土で塚を作って集団で暮らす。

→　注意：塚をつつくと、ワッと出てきて集団で刺します。

あやしいアリがいたら、近づかない、触らないようにしましょう。

アリに刺されたら

すぐに大人に相談しましょう。

ヒアリだったら、刺されると、とっても痛いです。かゆみ、じんましん、息が苦しい、ふらふらするなど体の変化が出ることもあります。

先生方、保護者の方へのお願い

ヒアリに似たアリの集団がいて、駆除をお考えの場合は、最寄りの環境省の地方環境事務所や、都道府県の環境部局にご相談ください。

ヒアリが集団でいる場合は、むやみな駆除は拡散させるおそれがあるほか、日本には在来のアリ（270 種以上）がいて、生態系の中で重要な役割を担っており、全てのアリを駆除してしまうことは、日本の生態系を壊してしまうことにつながりかねません。

アリ塚

2017.7　環境省